



法人理念

「ひとりの人を大切にしたい まごころ介護」

「ひとりの人の可能性を信じる まごころ介護」



「化石となっても守りたい 最後まで必ず見届ける」もみじ^{じい}爺のひとり言

沢山の情報と、目まぐるしく変わっていく社会の中で、一年を通じて思うこと。グループもみじのような小さな宅老所。認知症の方ひとりひとりに寄り添うだけのそんな場がやっぱり必要なのだと。

正直なところ周りを見渡せば豪華で綺麗な見栄えのする施設は山のようにあるけれど、もみじが15年前にスタートしてから、今なお変わらず繋がってくれているお年寄り、家族、そして応援してくれる方々、いつも小言とボヤキばかりの私に相も変わらず付いてきてくれるスタッフたちに囲まれたこの場が愛おしいと思う。そして化石になっても、言い続けたいのは、だれもが必ず訪れる死に向き合い、人生を生き切ること、愚直に寄り添い続けることが私たちの使命だと。



60歳後半の私（もみじ代表田中）も99歳のトヨコさんにはまだまだ子供みたいなもんなんです。お年寄りが与えてくれる豊かな愛情が染み渡ります。

「頭だしてみろ！お～こりゃ良い頭だわ」

出会ったら必ず最後まで見届ける。そのためには認知症のご本人だけでなく、そのご家族に絶対の信頼と私達のご本人に対してしようとしていることに納得を持って頂く必要がある。ご本人が伝えられない思いを家族にお伝えし、認知症の方と家族の繋がりを決して切らさないように支えなければいけない。

私達は家族にはなってはいけません。本当の家族がしっかりと関わられるように、互いの気持ちを受け止め、橋渡しをして、繋がりをより深くしてもらえるように。



「死」というゴールはそれがいつかは分からないが必ず訪れる。私たちは旅立ちのその日まで隣に寄り添い、ボストンバックを持ち続けるのである。このボストンバックは認知症になっても、混乱の最中の、不安の日々もあれば、時に自らの人生を懐かしく回想し、子どもの頃の無邪気な気持ちを抱いた瞬間もあれば、家族へ自分が残し、託したい生きた証であったり、死への旅路への安心感であったり、一つの命の重さをずしりと感じる、たくさんの記憶が入っている。決して途中で手放してはいけないボストンバックなのである。

認知症になったら、年老いたら、自宅も家族の元も離れて暮らす。それが普通の事だ。という世の中には絶対にしたくない。今自分が認知症になったら、わたしは「今いるここで生きつづけたい。」とそう願う。

あなたはどうか？



命という原点を感じながら、自分に問い続けます。なすべきことは何なのだろう。後悔なく人生を生き切るために、日々人の生き方に、人生に向き合うのだと。

私の居場所と役割



必要とされる喜びを感じたい



お料理大好き！サキさんのスパゲッティ

宅老所さくらに通われて数か月のサキさん。お料理が得意で昔はお惣菜をつくるお仕事をしていました。自宅では娘のノリさんと仲良く台所に立ち料理をされており、ノリさんも「サキちゃんの作るスパゲッティは本当においしいんです！」と話してくれます。

さくらでスタッフが何度かサキさんに噂のスパゲッティを作っていただきたいとお願いしても「やだよ！なんで他人の為に作らなきゃいけないんだ！もうちょっと仲良くなったら作ってあげる！」と断られていました。ある日、朝から笑顔でさくらに来て料理の話をしながらお茶を飲まれているサキさん。スタッフ1人1人の顔も覚えてくださり心を許してくださる場面も増えてきていたので「サキさんの噂のスパゲッティ食べてみたいなあー。」とお願いしてみると、「スパゲッティ食べたいんか？」

材料あるのか？」と以前とは違う返事が返ってきました。「材料が無いので一緒にスーパーに買い物に行ってくれますか。」と聞くと「はいよ！わかった！」と笑顔おっしゃいます。買い出しを終え、さくらに戻るとサキさんのスパゲッティ作りがはじまりました。「ニンニクはあるか？」「ウスターソースはどこだ？」「塩コショウは？」と手際よく調理されるさきさんにさくらの職員佐々木もアシスタントで大忙し！下準備はあっという間に終わり「これでいいからあとはしっかり煮込むの！」とさきさん。それから2時間弱火でじっくりコトコト煮込みます。おまちかねの昼食。サキさん特製ミートソースのたっぷりかかったスパゲッティを皆でいただきます。「う～ん！美味しい！」お年寄りの皆さんも誰一人残すことなく完食。お店にも負けないサキさんのスペシャルな

おふくろの味！最高の昼食でした。この日の様子を娘のノリさんに写真をお見せしながらお話すると「美味しそうに出来ましたね。涙が出そうです。皆さんに喜んでいただけて母も幸せ者です。私も嬉しい。」と感激のお言葉が。認知症の症状には良い時も悪い時も波はありますが、サキさんがサキさんらしく、一日一日を安心して過ごせて、イキイキとした笑顔でご自分の可能性を感じられる、居場所と役割作りを、私たちはそばで支えていきたいと思います。サキさん！また美味しいごはん作って下さいね！宅老所のみんな楽しみにしていますよ(^-^)/



リズムカルにひき肉を炒めていくサキさん。手際よく調理を進めます。



マキさん 104 歳（中央）もハイカラスパゲッティに大満足。「こりゃ美味しいよ！」

もみじの宅老所～季節を感じて～

通いも・泊りも・訪問も組み合わせたケアを行うもみじの宅老所では、季節の移り変わりを肌で感じながら何気ない暮らしの場面を大切にしたケアを行っています。おひとりおひとりのお好きなコトをスタッフが感じとりながら日常の変化を大事にした宅老所での時間を過ごして頂いています。

宅老所みんなのあもり



今日はみんなでおやき作り。皮を伸ばして具材を包みます。



完成！

「お嬢ちゃん上手よ」

帽子を買いにデパートへ。「どれが似合うかしら？赤も素敵！」



縁側でひとり物思いにふけるヤスさん。横顔が渋いです！



宅老所さくら



赤い～りんごに～くちび～る寄せて♪甘酸っぱい香りが広がります。



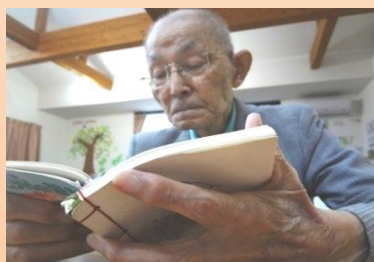
温泉の後は仲良くお昼寝。「うふふ、ちょっぴり恥ずかしいワ。」



温泉と言えば卓球！「手加減なしだ。さあ行くよ！」

夕やけ小やけ

キュートなうさみみで乙女心全開のハロウィン祭！「お姉さまとってもお似合いです☆」



じっくり読書のひと時。芥川に夏目漱石…歳を重ねるごとに味わい深い世界が見えてきます。

ご近所さんにいただいたおいしそうな柿です。干し柿ができるのが待ち遠しい！



宅幼老所夢いちもんめ



国宝 松本城にて笑顔でハイ！ポーズ！とっても嬉しそうなトモコさん

コスモス畑にて「私たちコスモスの精みたいでしょう」



浅間温泉 足湯にて三人仲よくポッカポカ。「は～いい気持ち。」



作品名 にぎレバ

材料費 600 円（送料、振込手数料別）にて受注後作成いたします。詳しくはグループもみじ事務局までお問い合わせください。



自分で出来るって感動！

念願のスプレー缶が使えたよ！



病気により指先に力が入らず、スプレー缶を使うことはもう自分には出来ないと諦めていました。一年程前国立長野高専の先生との出会いから、バリアフリーテクノロジー同好会の学生さんにも協力頂き、試作品のテストを重ねながらスペシャルな自助具を作って頂きました☆その名も「にぎレバ」。指先では押せないスプレーを、手全体でレバーを握る動作により使う事が可能になります。

音符型♪のデザインもとってもキュートです♪この「にぎレバ」本年度のリハビリテーション工学協会主催福祉機器コンテストで見事優秀賞も受賞しました。学生の皆さんおめでとうございます。これからも技術で人を幸せにを合言葉に、インクルーシブなモノづくりを一緒に楽しみましょう。

（事務局清水）



あなたも

※現在の仕様では直径 35mm, 高さ 125 ~ 135mm 程度のスプレー缶対応

ほっこり居場所

タヤけカフェ

松本市並柳地区にある小規模ケアホームタヤけ小やけ。ここでは、毎月第 3 土曜日にタヤけカフェをOPENしています。お年寄りと、ご家族、地域の方などが集まってお茶やスタッフ特製のスイーツを楽しみながら、可愛いオリジナル小物を作ったりのんびりした時間が過ごせます。はじめて会った方同士でも自然と話が広がり、心地よい温かさを感じられるタヤけカフェ。次は何を作ろうかな？毎月楽しみな一日です。施設でのボランティアなんて固く考えずに、お気軽に遊びにいらして下さいね。小さなお子さん連れのママさんも大歓迎(^^) / お年寄りスタッフ一同お待ちしております。

タヤけカフェ【毎月第 3 土曜日 PM1:00~3:00】

お問合せ TEL 0263-87-2760（担当：奥原）



←キュートなフォトフレームの完成☆カラフルで可愛いです。

介護でお困りの事などお気軽にお問い合わせください。見学も随時受け付けております。

宅老所みんなのあもり 026-226-0903

宅老所さくら

026-244-7104

タヤけ小やけ 0263-87-2760

宅幼老所夢いちもんめ 0263-26-1680

居宅支援青もみじ 0263-87-1026



もみじ情報更新中

NPO法人グループもみじ 〒380-0941 長野県長野市葭ヶ淵 1861

電話 026-227-4425

FAX 026-217-7764

ホームページ

グループもみじ

検索

※バックナンバー掲載しています。

